

私は、8月17日～22日に行われた日韓青少年スポーツ交流に通訳として参加しました。参加した経緯は、私は韓国語を話すことに苦手意識があり、それを克服するために思い切って挑戦しました。今回の交流事業を通して得た最も大きな成果は、自分の語学力と対応力を実践の場で鍛えられたことです。

バドミントン競技の担当としてルールを理解する中で、シングルスやダブルスなどの専門用語を使う機会があり、新しい語彙を習得することができました。また、初めは韓国語を話すことに慣れず、先輩方に頼ってしまっていたのですが、先輩方が話している韓国語を聞いて学び、翌日それを実践することで徐々に自信をもてるようになりました。

その結果、最後には監督同士の会話を通訳することが出来るようになり、大きな成長を感じることができました。さらに、通訳に加えて、移動や食事のスケジュール管理、選手団の誘導といった役割も担い、通訳だけにとどまらず様々な幅広いサポートを経験することができました。

今回の活動の中で一番の思い出は、韓国の選手たちにオススメのお菓子を教えたりアイスクリームの注文を手伝ったりする中で、好きなものや嫌いなものなどの会話を通して仲良くなることができたことです。短い時間でも積極的に話しかけることによって、距離がぐっと縮まったと感じました。今回の経験を通して、実際に交流の場で経験を重ねることが自信に繋がることを実感しました。

今後も積極的にこうした交流やイベントに参加し、語学力を磨いていきたいです。